

一般質問



※すべての質問を掲載しているわけではありません。
詳しく知りたい方は、QRコードを読み取り、録画中継をご覧ください。

男女の出会いの場の創出は

松山圏域での広域連携に
より開催している

問 自治体が先手を打って動かなければ今後危機的な状況を招くのではないかと。

答 子育ての前提となる「出会い」や「結婚」に目を向けることは、これからの人口政策において重要な観点であると認識している。

現在、松山圏域の3市3町では「まつやま圏域未来共創ビジョン」に基づき、出会い・交流支援事業を広域連携で推進している。

「出会いから結婚、子育てへ」とつながるライフステージのサポートについて、今後も広域連携を軸として、さらなる取組について研究していきたい。



重松 知之
議員



町の備蓄管理や 物資要請に関する体制は

外部システム導入事例の
検討を行い、本町の課題解決
を進めていきたい

問 BDRと
いう民間の防
災DXサービ
ス導入の考え
はないか。

答 本町では、
災害発生時に

迅速な対応を図るため、「物資調達・輸送調整等支援システム」を令和2年度から導入してきた。

このたび、国のシステム更新に伴い、令和7年4月からは後継のシステム「BDR」に運用を切り替えている。

災害時の物資要請体制においては、町単独の備蓄には限界があるため、県や周辺自治体との広域支援協定に加え、民間事業者との連携強化も進めている。

災害時に支援物資を迅速に届ける体制の構築を。

